

教育職員免許状の取得

(1) 免許状の種類／免許教科

経済学部で、教育職員免許法及び同法施行規則により定められた単位を取得した人は、次の免許状を取得することができます。

教育職員免許状の種類	免許教科
高等学校教諭一種免許状	商業

(2) 基礎資格および必要修得単位数

基礎資格	各科目の必要修得単位数					
	① 文部科学省令で定める科目	② 教科及び教科の指導法に関する科目	③ 教育の基礎的理解に関する科目	④ 道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	⑤ 教育実践に関する科目	⑥ 大学が独自に設定する科目
学士の学位を有すること	8	24	10	9 (※1)	5	12 (※2)

(※1) 免許法で求められるより1単位多く修得することになります。この1単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位にあてることができます。

(※2) 必要修得単位数を超えて修得した②～⑤の授業科目をあてることができます。

(3) 免許状取得に関する単位修得方法 (○は必修科目)

1) ①文部科学省令で定める科目の単位修得方法

昼間コース		夜間主コース	
授業科目	単位数	授業科目	単位数
○日本国憲法	2	○憲法 I	2
○するスポーツ演習	1	○するスポーツ演習	2
○健康・スポーツ科学	1	○健康・スポーツ科学	2
○英語(スピーキング)－1・2	各 0.5	○英語 (ネイティブ)	2
○英語(リスニング)－1・2	各 0.5	○英語 (オラコン)	2
○情報処理入門 1 (情報機器の操作を含む。)	1	○情報処理入門(情報機器の操作を含む。)	2
情報処理入門 2 (情報機器の操作を含む。)	1		
情報処理入門 3 (情報機器の操作を含む。)	1		

2) ②～⑤の科目の単位修得方法

科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単位	履修		必要修得単位数		
				年次	方法	高免	教育実習履修資格	
②教科及び 科法に関する 科目	教科に関する専門的事項	次項の表参照	20	(*1)	●必修	20		
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	商業科指導法ⅠB 商業科指導法ⅡB	22	(*1)	●必修	4	2	
③教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説B①	2	1～	●必修	2		
	教職の意義及び教員の役割 職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論B	1	2～	●必修	1	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と社会ⅠB 教育の制度と社会ⅡB	11	2～	●必修	2		
		人権・同和教育B	2	1～	○選択			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概説ⅠB 教育心理学概説ⅡB	11	1～	●必修	2	4	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基本B	1	3～	●必修	1		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラムマネジメントを含む。)	カリキュラム論B	2	2～	●必修	2		
④道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 、教育相談等に関する科目 、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導	総合的な学習の時間の指導法 総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	1	1～	●必修	1		
	特別活動の指導法	特別活動論B	1	1～	●必修	1	6	
	教育の方法及び技術	教育方法論B	2	2～	●必修	2	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と方法	1	2～	●必修	1		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論ⅠB 生徒指導論ⅡB	11	2～	●必修	2	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論B	1	3～	●必修	1		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論B	1	3～	●必修	1		
⑤教育実践に関する科目	教育実習	教育実習基礎研究B	1	3～	●必修	1		
		教育実習Ⅱ(高等学校B)	2	4	●必修	2		
	教職実践演習	教職実践演習B(中・高)	2	4	●必修	2		
必要合計単位						28	12	4
							16	

(*1) 各教科により履修年次が異なります。また、複数教科を取得する場合は免許教科ごとに単位を履修すること。

上記の表で示す単位数に加え、⑥大学が独自に設定する科目12単位の修得が必要です。

3) 教科に関する専門的事項の単位修得方法（○は必修科目）

教科	授業科目名		開講学部
	昼間コース	夜間主コース	
商業	○経営学入門 Rによるデータ分析入門 経営組織論 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 統計学入門 経済・経営数学Ⅰ 経済・経営数学Ⅱ 簿記論 会計学入門 現代日本経済史 グローバル経済入門 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 公共経済学 労働経済学Ⅰ 労働経済学Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 金融経済学 日本経済史 経営戦略論Ⅰ 経営戦略論Ⅱ 国際経営Ⅰ 国際経営Ⅱ リーダーシップ論 組織行動論 マーケティングⅠ マーケティングⅡ コーポレートファイナンスⅠ コーポレートファイナンスⅡ イノベーション論Ⅰ イノベーション論Ⅱ 制度会計論 財務会計論 管理会計論 原価計算論 工業簿記論 税務会計論 経済法 a b	○経営学入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 ミクロ経済学 マクロ経済学 労働経済学 リーダーシップ論 コーポレートファイナンス 経済・経営数学 統計学入門 計量経済学 社会保障論 財政学 現代日本経済史 マーケティング イノベーション論 経営戦略論 国際経営 会計学入門 管理会計論 制度会計論 経済法 a b	経済学部
職業指導	○職業指導概論Ⅰ 職業指導概論Ⅱ	○職業指導概論Ⅰ 職業指導概論Ⅱ	経済学部

※必ず所属するコースで開講されている科目を履修すること。

(4) 教育実習

- 1) 教育実習は、4年次の前半期に2週間、各自の出身校で履修すること。
- 2) 教育実習履修資格：教職課程履修ハンドブックに記載の教育実習履修資格の16単位を修得済みであること。
- 3) 教育実習に関する手続きの詳細は、その都度、掲示するので期限厳守で手続きを行うこと。
- 4) 事情により教育実習を辞退する場合は、速やかに出身校と教務学生グループへ届け出ること。